

特111

110

大正七年八月三十日現行

産業組合關係法規

神奈川縣內務部



始



目次

▼産業組合法……………一頁

一市街地信用組合ノ拂戻準備金ノ管理ニ關スル件……………三七頁

一産業組合法中主務大臣ノ行フ職務ニ關スル件……………三九頁

△産業組合法施行規則……………四〇頁

▼産業組合法登記取扱手續……………五一頁

一産業組合登記簿ノ謄本又ハ抄本手数料ノ件……………七九頁

一産業組合ニ關スル登記ヲ取扱フ登記所ノ件……………九六頁

一登録稅法抄……………九七頁

一政府ニ於テ産業組合ヨリ物品ノ買入ヲ爲ストキ隨意契約ニ依ルコトヲ得ルノ件……………九八頁

一産業組合法第一條ノ規定ニ依ル市街地指定ノ件……………九九頁

▽農業倉庫業法……………一〇一頁

▲農業倉庫業法施行規則……………一〇六頁

一農業倉庫收支計算書及事業報告書ノ様式……………一一一頁

▽農業倉庫獎勵規則……………一二三頁

一神奈川縣農會農業倉庫補助規則……………一二五頁

一神奈川縣農會農業倉庫補助規則……………一二九頁

以上

特111  
110

産業組合法

明治三十三年三月六日法律第三十四號  
(同年勅令第三百一號ヲ以テ同年九月一日ヨリ施行)

改正

明治三十九年四月十八日法律第四十五號  
明治四十二年四月八日法律第二十七號  
大正六年七月二十日法律第二十二號

第一章 總則

第一條 本法ニ於テ産業組合トハ組合員ノ産業又ハ其ノ經濟ノ發達

企圖スル爲メノ目的ヲ以テ設立スル社團法人ヲ謂フ

組合員ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得ルコト(信用組合)

組合員ノ生産シタル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ賣却スルコト(販賣組合)

産業又ハ生計ニ必要ナル物ヲ購買シ之ニ加工シ又ハ加工セスシ

テ之ヲ組合員ニ賣却スルコト(購買組合)

組合員ノ生産シタル物ニ加工シ又ハ組合員ヲシテ産業ニ必要ナ



ル設備ヲ利用セシムルコト(生産組合)

二

信用組合ハ組合員外ノ者ニシテ組合加入ノ豫約ヲ爲シタルモノノ出資一口ニ達スル迄ノ貯金ヲ取扱フコトヲ得  
信用組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員ニ對シ其ノ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニ在ル者、公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ貯金ヲ取扱フコトヲ得  
市又ハ主務大臣ノ指定スル市街地カ組合ノ區域ニ屬スル信用組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員ニ對シ其ノ産業若ハ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ノ爲手形ノ割引ヲ爲シ又ハ前二項ノ貯金ノ外組合ノ區域内ニ居住スル組合員外ノ者ノ貯金ヲ取扱フコトヲ得  
前項ノ規定ニ依ル貯金ハ有限責任組合ニ在リテハ出資總額及準備金其ノ他ノ積立金ノ額ノ合計、保證責任組合ニ在リテハ之ニ保證金額ヲ加ヘタル合計、無限責任組合ニ在リテハ出資總額ノ五倍及準備金其ノ他ノ積立金ノ額ノ合計ヲ超エ之ヲ受入ルルコトヲ得ス

第四項ノ規定ニ依ル貯金ヲ取扱フ信用組合ハ第一項第二號乃至第四號ノ事業ヲ兼ヌルコトヲ得ス

第二條 産業組合ノ組織ハ無限責任、有限責任及保證責任ノ三種トシテ無限責任組合ニ在リテハ組合財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於テ組合員ノ全員カ連帶無限ノ責任ヲ負擔シ、有限責任組合ニ在リテハ組合員ノ全員カ其ノ出資額ヲ限度トシテ責任ヲ負擔シ、保證責任組合ニ在リテハ組合財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於テ組合員ノ全員カ其ノ出資額ノ外一定ノ金額ヲ限度トシテ責任ヲ負擔ス

第三條 産業組合ノ住所ハ其ノ主タル事務所ノ所在地ニ在ルモノトス  
第四條 産業組合ノ名稱中ニハ其ノ組織及目的ヲ示スヘキ文字ヲ用フヘシ

産業組合ニ非スシテ其ノ名稱中ニ産業組合タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

三

第五條 産業組合ニハ本法ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外商法及商  
法施行法中商人ニ關スル規定ヲ準用ス

第六條 産業組合ニハ所得稅及營業稅ヲ課セス

第二章 設立

第七條 産業組合ハ七人以上ニ非サレハ之ヲ設立スルコトヲ得ス

第八條 組合ノ設立者ハ定款ヲ作り之ヲ主タル事務所所在地ノ地方長  
官ニ差出シ設立ノ許可ヲ請フヘシ

第九條 定款ニハ本法ニ規定アルモノヲ除クノ外左ノ事項ヲ記載シ設  
立者之ニ署名捺印スヘシ

一 目的

二 名稱

三 組織

三ノ二 區域

四 事務所

五 出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法

六 第一回拂込ノ金額

七 剩餘金處分及損失分擔ニ關スル規定

八 準備金ノ額及其ノ積立ノ方法

九 組合員タル資格ニ關スル規定

十 組合員ノ加入及脱退ニ關スル規定

十一 組合ノ目的タル事業ノ執行ニ關スル規定

十二 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由「  
信用組合ノ區域ハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外市町村ノ區域内ニ  
於テ之ヲ定ムヘシ

第十條 産業組合ハ其ノ組合員ノ數ヲ限定スルコトヲ得ス

第十一條 出資一口ノ金額ハ均一ニ之ヲ定ムヘシ

出資一口ノ金額ノ最高限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條 組合カ其ノ設立ノ許可ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク各組合員

ヲシテ第一回ノ拂込ヲ爲サシムヘシ

第十三條 前條ノ拂込アリタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スヘシ

第十四條 登記スヘキ事項左ノ如シ

- 一 第九條第一號乃至第五號及第十二號ニ掲ケタル事項
- 二 設立許可ノ年月日
- 三 理事及監事ノ氏名、住所

前項ニ掲ケタル事項中ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ登記ヲ爲スヘシ  
登記前ニ在リテハ其ノ變更ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第十五條 行政區劃又ハ土地ノ名稱ノ變更アリタルトキハ登記簿ノ記載ハ變更セラレタルモノト看做ス但シ其ノ記載ヲ更正スルコトヲ妨ケス

第十六條 民法第四十五條第二項、第三項及第四十八條ノ規定ハ期間ヲ除クノ外産業組合ニ之ヲ準用ス

第十六條ノ二 第十二條ノ拂込アリタルトキハ組合ハ二週間内ニ其ノ

旨ヲ地方長官ニ届出テ同時ニ組合原簿ヲ提出スヘシ

前項ノ規定ニ依ル届出及提出アリタルトキハ地方長官ハ遲滞ナク各事務所所在地ノ登記所ニ設立ノ登記ヲ囑託シ且主タル事務所所在地ノ登記所ニ組合原簿ヲ送付スヘシ

第十六條ノ三 第十四條第一項ニ掲ケタル事項中ニ變更ヲ生シタルトキハ組合ハ二週間内ニ變更ノ登記ヲ爲スヘキ事項ヲ地方長官ニ届出ツヘシ但シ登記ノ事由カ地方長官ノ認可其ノ他ノ處分ニ因リテ生シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依ル届出アリタルトキハ地方長官ハ遲滞ナク各事務所所在地ノ登記所ニ登記ノ囑託ヲ爲スヘシ前項但書ノ場合亦同シ

第十六條ノ四 組合ハ主タル事務所ノ移轉又ハ組織變更ノ登記ニ關スル届出ヲ爲スト同時ニ組合原簿ヲ地方長官ニ提出スヘシ但シ同一ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ事務所ヲ移轉シタル場合ハ此ノ限ニ在ラ

地方長官ハ主タル事務所所在地ノ登記所ニ前項ノ登記ヲ囑託スルト  
同時ニ組合原簿ヲ送付スヘシ

第十六條ノ五 組合原簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 出資ノ總口數
  - 二 拂込ミタル出資ノ總額
  - 三 無限責任組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名、住所
  - 四 保證責任組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名、住所及保證金額
- 登記所ノ受理シタル組合原簿ハ之ヲ登記簿ノ一部ト看做シ其ノ記載  
ハ之ヲ登記ト看做ス

第十四條第二項及第十五條ノ規定ハ組合原簿ニ之ヲ準用ス

第十六條ノ六 第十六條ノ三ノ規定ハ組合原簿ニ記載シタル事項ニ變  
更ヲ生シタル場合ニ之ヲ準用ス但シ前條第一項第一號及第二號ニ掲  
ケタル事項竝組合員ノ氏名及住所ニ付テハ變更ノ生シタル事業年度

ノ終ヨリ二週間内ニ届出ヲ爲スヲ以テ足ル

組合員ノ加入ノ場合ニ於テハ無限責任組合ニ在リテハ加入者ノ氏名  
及住所ヲ、保證責任組合ニ在リテハ加入者ノ氏名住所及保證金額ヲ  
記載シタル組合原簿ヲ加入ノ日ヨリ二週間内ニ地方長官ニ提出シ地  
方長官ハ遲滞ナク之ヲ主タル事務所所在地ノ登記所ニ送付スヘシ

第三章 組合員ノ權利義務

第十七條 組合員ハ出資一口以上ヲ有スヘシ

組合員ノ有スヘキ出資口數ハ三十口ヲ超ユルコトヲ得ス但シ特別ノ  
事由アルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ五十口迄之ヲ増加スルコトヲ  
得

第十八條 組合員ハ組合ニ拂込ムヘキ出資額ニ付相殺ヲ以テ組合ニ對  
抗スルコトヲ得ス

第十九條 組合員ハ組合ノ承諾アルニ非サレハ其ノ持分ヲ讓渡スコト  
ヲ得ス

組合員ニ非サル者ニシテ持分ヲ讓受ケムトスルトキハ加入ノ例ニ依ルヘシ

第二十條 組合員ハ持分ヲ共有スルコトヲ得ス

第二十一條 持分ノ讓受人ハ其ノ持分ニ付讓渡人ノ權利義務ヲ承繼ス

第二十二條 新ニ組合ニ加入シタル組合員ハ其ノ加入前ニ生シタル組合ノ債務ニ付テモ亦責任ヲ負擔ス

第二十三條 組合員ハ總組合員五分ノ一以上ノ同意ヲ得テ總會ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ招集ヲ理事ニ請求スルコトヲ得

第二十四條 組合員ニシテ總會ノ招集手續又ハ其ノ決議ノ方法カ法令又ハ定款ニ違背スト認ムルトキハ決議ノ日ヨリ一箇月内ニ其ノ決議ノ取消ヲ地方長官ニ請求スルコトヲ得

#### 第四章 管理

第二十五條 産業組合ニハ理事及監事ヲ置クヘシ

理事及監事ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス但シ組合設立ノ當時ノ理事及監事ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第二十六條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條 理事又ハ監事ハ何時ニテモ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ解任スルコトヲ得

第二十八條 理事及監事ノ選任及解任ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ以テ之ヲ決ス但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十九條 理事ハ定款及總會ノ決議録ヲ各事務所ニ備ヘ置キ且組合員名簿ヲ主タル事務所ニ備ヘ置クヘシ

組合員及組合ノ債權者ハ前項ニ掲ケタル書類ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得

第二十九條ノ二 組合員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 各組合員ノ氏名、住所
  - 二 各組合員ノ出資口數
  - 三 各組合員ノ拂込ミタル金額及其ノ拂込ノ年月日
  - 四 出資各口ノ取得ノ年月日
  - 五 保證責任組合ニ在リテハ各組合員ノ保證金額
- 第三十條 理事ハ通常總會ノ會日ヨリ一週間前ニ財産目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案ヲ監事ニ提出シ且之ヲ主タル事務所ニ備フヘシ
- 組合員及組合ノ債權者ハ前項ニ掲ケタル書類ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得
- 第三十一條 理事ハ前條第一項ニ掲ケタル書類及監事ノ意見書ヲ通常總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ
- 第三十一條ノ二 産業組合カ其ノ組合員ニ對シテ爲ス通知又ハ催告ハ組合員名簿ニ記載シタル組合員ノ住所又ハ其ノ者カ組合ニ通知シタル住所ニ宛ツルヲ以テ足ル

前項ノ通知又ハ催告ハ通常其ノ到達スヘカリシ時ニ到達シタルモノト看做ス

- 第三十二條 民法第四十四條第一項、第五十二條第二項、第五十三條乃至第五十五條、第六十條及第六十一條第一項ノ規定ハ産業組合ノ理事ニ之ヲ準用ス
- 第三十三條 監事ハ理事其ノ他組合ノ事務員ト相兼ヌルコトヲ得ス
- 第三十四條 民法第五十九條ノ規定ハ産業組合ノ監事ニ之ヲ準用ス
- 第三十五條 組合カ理事ト契約ヲ爲ス場合ニ於テハ監事組合ヲ代表ス組合ト理事トノ間ノ訴訟ニ付テモ亦同シ
- 第三十六條 總會ノ決議ハ本法又ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席シタル組合員ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス
- 第三十七條 組合員ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席ト看做ス但シ組合員ニ非サレハ代理人タルコトヲ得ス



代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ差出スヘシ

第三十八條 民法第六十二條、第六十四條、第六十五條第一項及第十六條ノ規定ハ産業組合ニ之ヲ準用ス

第三十八條ノ二 組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ定款ヲ以テ總會ニ代ハルヘキ總會ヲ設クルコトヲ得

總會ニ關スル規定ハ前項ノ總會ニ之ヲ準用ス但シ總會ニ於テハ解散及合併ノ決議ヲ爲スコトヲ得ス

第三十九條 定款ノ變更ハ總會ノ決議ニ依ルヘシ

第二十八條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

定款ノ變更ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第四十條 組合カ出資一口ノ金額ノ減少ノ決議ヲ爲シタルトキハ其ノ

決議ノ日ヨリ二週間内ニ財産目錄及貸借對照表ヲ作ルヘシ  
組合ハ前項ノ期間内ニ其ノ債權者ニ對シ異議アラハ一定ノ期間内ニ之ヲ述フヘキ旨ヲ定款ノ定ムル方法ニ從ヒテ公告シ且知レタル債權

者ニ各別ニ之ヲ催告スヘシ但シ其ノ期間ハ二箇月ヲ下ルコトヲ得ス

第四十一條 債權者カ前條第二項ノ期間内ニ出資ノ減少ニ對シテ異議ヲ述ヘサリシトキハ之ヲ承認シタルモノト看做ス

債權者カ異議ヲ述ヘタルトキハ組合ハ之ニ辨濟ヲ爲シ又ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ非サレハ出資ヲ減少スルコトヲ得ス

第四十二條 前二條ノ規定ハ保證責任組合カ組合員ノ保證金額ヲ減少スル場合ニ之ヲ準用ス

第四十三條 組合員カ其ノ出資ノ拂込ヲ終ル迄ハ之ニ配當スヘキ剩餘金ハ其ノ拂込ニ充ツヘシ

第四十四條 組合ハ損失ヲ填補シタル後ニ非サレハ剩餘金ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

剩餘金配當ニ關スル制限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十五條 組合ハ第五十三條ノ場合ヲ除クノ外持分ノ拂戻ヲ爲スコトヲ得ス

第四十六條 組合ハ定款ヲ以テ定メタル準備金ノ額ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ積立ツヘシ

第四十六條ノ二 信用組合ハ第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ノ總額ノ四分ノ一以上ノ金額ヲ拂戻準備金トシテ勅令ノ定ムル所ニ依リ管理スヘシ

前項ノ金額ハ事業年度ニ從ヒ毎六箇月末日現在ノ貯金總額ニ依リ之ヲ定ム

第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ヲ爲シタル者ハ第一項ノ拂戻準備金ノ上ニ先取特權ヲ有ス

第四十六條ノ三 有限責任又ハ保證責任ノ信用組合第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ニ關スル債務ヲ完済スルコト能ハサルトキハ各理事連帶シテ之ヲ辨済スルノ責ニ任ス

前項ノ規定ニ依ル理事ノ責任ハ其ノ退任前ノ債務ニ付退任ノ登記後二箇年間仍存續ス

第四十七條 組合ノ事業年度ハ一箇年トス

第四十八條 組合ハ組合員ノ持分ヲ取得シ又ハ質權ノ目的トシテ之ヲ受クルコトヲ得ス

### 第五章 加入及脱退

第四十九條 組合員ノ加入ハ無限責任組合ニ在リテハ總組合員ノ同意アルコトヲ要ス

前項ノ同意ニ付テハ組合ハ總組合員ニ對シ加入ニ異議アラハ二週間ヲ下ラサル一定ノ期間内ニ之ヲ述フヘキ旨ヲ催告スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ其ノ期間内ニ異議ヲ述ヘサル者ハ同意ヲ爲シタルモノト看做ス

第五十條 定款ヲ以テ組合ノ存立時期ヲ定メタルト否トヲ問ハス組合員ハ事業年度ノ終ニ於テ脱退スルコトヲ得但シ六箇月前ニ其ノ豫告ヲ爲スヘシ

前項ノ豫告期間ハ定款ヲ以テ之ヲ延長スルコトヲ得但シ二箇年ヲ超

ユルコトヲ得ス

第五十一條 組合員ハ左ノ事由ニ因リテ脱退ス

一 組合員タル資格ノ喪失

二 死亡

三 破産

四 禁治産

五 除名

第五十二條 除名ノ事由ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム

除名ハ總會ノ決議ニ依ル但シ除名シタル組合員ニ其ノ旨ヲ通知スルニ非サレハ之ヲ以テ其ノ組合員ニ對抗スルコトヲ得ス

第二十八條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

第五十三條 脱退シタル組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ持分ノ全部又ハ一部ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得

第五十四條 脱退シタル組合員ノ持分ハ其ノ脱退シタル事業年度ノ終

ニ於ケル組合財産ニ依リテ之ヲ定ム但シ定款ノ定ムル所ニ依リ脱退當時ノ財産ニ依リテ之ヲ定ムルコトヲ得

第五十五條 持分ノ拂戻ハ事業年度ノ終ヨリ三箇月内ニ之ヲ爲スヘシ但シ前條但書ノ場合ニ於テハ脱退ノ時ヨリ三箇月内ニ之ヲ爲スヘシ持分拂戻ノ請求權ハ前項ノ期間經過ノ後二箇年間之ヲ行ハサルニ因リテ消滅ス

第五十六條 持分ノ計算ヲ爲スニ當リ組合財産ヲ以テ組合ノ債務ヲ完済スルニ足ラサルトキハ脱退シタル組合員ハ其ノ負擔ニ歸スヘキ損失額ヲ拂込ムヘシ

第五十七條 脱退シタル組合員カ組合ニ對スル債務ヲ完済スル迄ハ組合其ノ持分ノ拂戻ヲ停止スルコトヲ得

第五十八條 無限責任組合及保證責任組合ニ在リテハ脱退シタル組合員ハ脱退前ノ組合債權者ニ對シ其ノ脱退ヲ組合原簿ニ記載シタル後二箇年間責任ヲ負擔ス

前項ノ規定ニ依ル期間ハ總組合員ノ同意アルトキハ定款ヲ以テ之ヲ延長スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ延長シタル期間ハ第一項ノ規定ニ違背セサル限り之ヲ短縮スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第四十條及第四十一條ノ規定ヲ準用ス

前三項ノ規定ハ持分ヲ讓渡シタル組合員ニ之ヲ準用ス

## 第六章 監督

第五十九條 産業組合ハ主務大臣、地方長官及郡長之ヲ監督ス

第六十條 監督官廳ハ何時ニテモ理事又ハ清算人ヲシテ組合ノ事業、財産又ハ清算事務ニ關スル報告ヲ爲サシメ組合ノ事業、財産又ハ清算事務ノ狀況ヲ検査シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

監督官廳ハ組合清算ノ場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ組合ニ對シ其ノ財産ノ供託ヲ命スルコトヲ得

第六十一條 組合ノ事業又ハ組合財産ノ狀況ニ依リ其ノ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキ又ハ組合ノ行爲カ定款若ハ法令ニ違背シ其ノ他公益ヲ害スルノ虞アルトキハ主務大臣又ハ地方長官ハ總會ノ決議ヲ取消シ、理事、監事若ハ清算人ノ改選ヲ命シ、組合ノ事業ヲ停止シ又ハ組合ヲ解散スルコトヲ得

## 第七章 解散

第六十二條 組合ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス

- 一 定款ニ定メタル事由ノ發生
- 二 總會ノ決議
- 三 組合ノ合併
- 四 組合員カ七人未滿ニ減シタルトキ
- 五 組合ノ破産

第二十八條ノ規定ハ解散及合併ノ決議ニ之ヲ準用ス但シ無限責任組合カ合併セムトスルトキ又ハ保證責任組合若ハ有限責任組合カ合併

ニ因リテ組織變更ト同一ノ結果ヲ生スヘキトキハ其ノ合併ニ付總組  
合員ノ同意アルコトヲ要ス

第六十三條 組合カ解散シタルトキハ合併及破産ノ場合ヲ除クノ外各  
事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第十四條第二項及第十六條ノ三ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス  
第六十三條ノ二 合併ニ因リテ組合ヲ設立スル場合ニ於テハ定款ノ作  
成其ノ他設立ニ關スル行爲ハ各組合ニ於テ選任シタル者共同シテ之  
ヲ爲スコトヲ要ス

第二十八條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル選任ニ之ヲ準用ス

第六十四條 第四十條及第四十一條ノ規定ハ合併ノ場合ニ之ヲ準用ス  
第六十五條 總會ノ決議ニ因ル解散又ハ合併ハ地方長官ノ認可ヲ受ク  
ルニ非サレハ其ノ効力ヲ生セス

第六十六條 組合カ合併ヲ爲シタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ合  
併後存續スル組合ニ付テハ變更ノ登記ヲ爲シ、合併ニ因リテ消滅シ

タル組合ニ付テハ解散ノ登記ヲ爲シ、合併ニ因リテ設立シタル組合  
ニ付テハ設立ノ登記ヲ爲スヘシ

第十六條ノ三ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十七條 合併後存續スル組合又ハ合併ニ因リテ設立シタル組合ハ  
合併ニ因リテ消滅シタル組合ノ權利義務ヲ承繼ス

第六十八條 組合ハ總組合員ノ同意ヲ以テ其ノ組織ヲ變更スルコトヲ  
得

組合カ組織變更ニ因リ組合員ノ責任ヲ減少スルトキハ第四十條及第  
四十一條ニ定メタル手續ヲ爲スヘシ

第六十九條 民法第七十條ノ規定ハ産業組合ノ解散ニ之ヲ準用ス

### 第八章 清算

第七十條 清算人ハ其ノ職務ノ範圍内ニ於テ理事ト同一ノ權利義務ヲ  
有ス

第七十一條 清算人ハ就職後遲滯ナク組合財産ノ現況ヲ調査シ財産目

錄及貸借對照表ヲ作り之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第七十二條 清算人ハ組合ノ債務ヲ辨濟シ又ハ辨濟ニ必要ナル金額ヲ供託スルニ非サレハ組合財産ヲ分配スルコトヲ得ス

第七十三條 清算事務カ終リタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作り之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第七十三條ノ二 清算人タル者ナキトキ又ハ清算人ノ缺ケタル爲損害ヲ生スル虞アルトキハ地方長官ハ清算人ヲ選任スルコトヲ得

第七十三條ノ三 重要ナル事由アルトキハ地方長官ハ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第七十四條 清算人ノ選任アリタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ氏名、住所ヲ登記スヘシ

第十四條第二項及第十六條ノ三ノ規定ハ清算人ニ關スル登記ニ之ヲ準用ス

第七十四條ノ二 清算結了シタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ

登記ヲ爲スヘシ

第十六條ノ三ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十五條 民法第七十三條、第七十四條及第七十八條乃至第八十一條ノ規定ハ産業組合ノ清算ニ之ヲ準用ス

第九章 産業組合聯合會及産業組合中央會

第七十六條 産業組合ハ左ノ目的ヲ以テ産業組合聯合會ヲ設立スルコトヲ得

一 所屬組合ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト(信用組合聯合會)

二 所屬組合ノ賣却スル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ賣却スルコト(販賣組合聯合會)

三 所屬組合ノ購買スル物ヲ購買シテ之ニ加工シ又ハ加工セスシテ所屬組合ニ賣却スルコト(購買組合聯合會)

四 所屬組合カ其ノ組合員ニ利用セシムル設備ヲ所屬組合ニ供給ス

ルコト(生産組合聯合會)

前項第一號ノ聯合會ニ在リテハ信用組合外ノ組合又ハ第二號乃至第四號ノ産業組合聯合會ヲ加入セシムルコトヲ得

第七十六條ノ二 信用組合聯合會ハ日本勸業銀行、日本興業銀行、北海道拓殖銀行又ハ農工銀行ニ對シ所屬組合又ハ所屬聯合會ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ債務ノ保證ヲ爲シタルトキハ信用組合聯合會ハ銀行ノ委任ヲ受ケ其ノ債權ノ取立ヲ爲スコトヲ得

第七十七條 産業組合聯合會ハ社團法人トス

産業組合聯合會ノ組織ハ有限责任及保證責任ノ二種トス

保證責任産業組合聯合會ノ所屬組合及所屬聯合會ノ保證責任ハ其ノ出資總額ノ範圍内ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第七十八條 産業組合又ハ産業組合聯合會カ産業組合聯合會ニ加入シ又ハ脱退セムトスルトキハ總會ノ決議ニ依ルヘシ

第二十八條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

第七十九條 産業組合聯合會ノ區域ハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外道府縣ノ区域内ニ於テ之ヲ定ムヘシ

主タル事務所所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ異ニスル二箇以上ノ産業組合聯合會ヲ合併セムトスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

區域カ道府縣ノ區域ヲ超ユル産業組合聯合會ノ監督其ノ他ノ職務ハ其ノ主タル事務所所在地ヲ管轄スル地方長官之ヲ行フ

第八十條 産業組合聯合會ノ理事及監事ハ總會ニ於テ所屬組合又ハ所屬聯合會ノ理事及監事ノ中ヨリ之ヲ選任ス但シ特別ノ事由アルトキハ理事又ハ監事ニ非サル者ヨリ選任スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ選任ニ付地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

産業組合聯合會設立當時ノ理事及監事ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第八十一條 産業組合聯合會ニハ本章ニ規定アルモノヲ除クノ外産業組合ニ關スル規定ヲ準用ス但シ第七十九條第二項ノ規定ニ依ル合併

ニ付テハ登記スヘキ事項ノ届出、組合原簿ノ提出及送付並登記ノ囑託ニ關スル規定中地方長官トアルハ合併後存続スル産業組合聯合會又ハ合併ニ因リテ設立シタル産業組合聯合會ノ主タル事務所所在地ヲ管轄スル地方長官トス

第八十二條 産業組合中央會ハ産業組合及産業組合聯合會ノ普及、發達及聯絡ヲ圖ル目的ヲ以テ設立スルコトヲ得

産業組合中央會ハ社團法人トス  
産業組合中央會ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ産業組合ノ事業ノ一部ヲ行フコトヲ得

第八十三條 産業組合中央會ノ名稱中ニハ産業組合中央會ナル文字ヲ用ウヘシ

産業組合中央會ニ非スシテ其ノ名稱中ニ産業組合中央會タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

第八十四條 産業組合中央會ハ全國ヲ通シテ一箇トシ其ノ設立ハ主務

大臣ノ許可ヲ受クヘシ

産業組合中央會ノ設立ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十五條 産業組合及産業組合聯合會ハ産業組合中央會ノ會員ト爲ルコトヲ得

前項以外ノ者ト雖定款ノ定ムル所ニ依リ産業組合中央會ノ會員ト爲ルコトヲ得

第八十六條 産業組合中央會ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 名稱
- 二 事務所
- 三 會員ノ加入及脱退ニ關スル規定
- 四 會員ノ權利義務ニ關スル規定
- 五 資産ニ關スル規定
- 六 役員ニ關スル規定
- 七 會議ニ關スル規定



- 八 事業ノ執行ニ關スル規定
- 九 定款ノ變更ニ關スル規定
- 十 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由  
定款ノ變更ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス
- 第八十七條 産業組合中央會設立ノ許可アリタルトキハ主タル事務所  
ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スヘシ
- 登記スヘキ事項左ノ如シ
- 一 目的及第八十二條第三項ノ規定ニ依ル事業ノ種類
  - 二 第八十六條第一項第一號、第二號及第十號ニ掲ケタル事項
  - 三 資産ノ總額
  - 四 設立許可ノ年月日
  - 五 理事及監事ノ氏名、住所
- 前項ニ掲ケタル事項中ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ登記ヲ爲スヘシ  
登記前ニ在リテハ其ノ變更ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第十六條ノ三ノ規定ハ第一項及前項ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ同條中  
地方長官トアルハ主務大臣トス

第八十八條 産業組合中央會ニハ理事及監事ヲ置クヘシ

第八十九條 産業組合中央會ノ理事及監事ハ會員タル産業組合又ハ産  
業組合聯合會ノ理事、監事及第八十五條第二項ノ會員ノ中ヨリ之ヲ  
選任スヘシ

第九十條 産業組合中央會ノ總會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ會員ノ中ヨ  
リ選出シタル代表者ヲ以テ組織ス但シ第九十二條ニ於テ準用シタル

第六十二條第一項第二號ノ總會ハ會員ヲ以テ組織ス

第九十一條 産業組合中央會ハ主務大臣之ヲ監督ス

第九十二條 第三條、第五條乃至第七條、第十條、第十五條、第十六  
條、第二十六條、第二十七條、第二十九條、第三十條乃至第三十五  
條、第三十九條第一項、第四十七條、第六十條、第六十一條、第六  
十二條第一項第一號第二號第四號第五號、第六十三條、第六十五條、

第六十九條乃至第七十五條、第八十條第二項、第九十三條ノ二及第九十四條竝民法第六十二條及第六十四條ノ規定ハ産業組合中央會ニ之ヲ準用ス但シ第六十五條、第七十三條ノ二及第七十三條ノ三中竝第六十三條、第七十四條及第七十四條ノ二ニ於テ準用シタル第十六條ノ三中地方長官トアルハ主務大臣トス

第十章 罰則

第九十三條 組合ノ理事又ハ監事何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス組合ノ事業ノ範圍外ニ於テ貸付若ハ手形ノ割引ヲ爲シ又ハ投機取引ノ爲ニ組合財産ヲ處分シタルトキハ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ規定ハ刑法ニ正條アル場合ニハ之ヲ適用セス

第九十三條ノ二 組合ノ理事、監事又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テハ五圓以上三百圓以下ノ過料ニ處セラレ

一 本法ニ定メタル届出若ハ組合原簿ノ提出ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ

不正ノ届出ヲ爲シ若ハ組合原簿ニ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ

二 官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

三 第二十九條第一項及第三十條第一項ノ規定ニ違背シ又ハ第二十九條第一項及第三十條第一項ニ掲ケタル書類ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ若ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ閱覽ヲ拒ミタルトキ

四 第一條第五項、第四十三條、第四十五條乃至第四十六條ノ二、第四十八條又ハ第七十二條ノ規定ニ違背シタルトキ

五 第六十條ノ報告ヲ爲サス又ハ検査ヲ拒ミ其ノ他監督官廳ノ命令又ハ處分ニ從ハサルトキ

六 民法第七十九條ノ期間内ニ債權者ニ辨償ヲ爲シタルトキ

七 民法第七十九條又ハ第八十一條ニ定メタル公告ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ

- 八 民法第七十條又ハ第八十一條ノ規定ニ違背シタルトキ
- 九 組合ノ目的タル事業ニ非サル營利事業ヲ營ミタルトキ
- 十 第四十條又ハ第四十一條ノ規定ニ違背シテ出資一口ノ金額若ハ組合員ノ保證金額ヲ減少シ、第五十八條ノ規定ニ依ル責任期間ノ短縮ヲ爲シ又ハ組合ノ合併若ハ組織變更ヲ爲シタルトキ
- 十一 法令又ハ定款ニ違背シテ剩餘金ヲ處分シタルトキ
- 第九十四條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前條ノ過料ニ之ヲ準用ス

附 則

- 第九十五條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第九十六條 産業組合ノ登記ニ付テハ其ノ事務所所在地ノ區裁判所又ハ其ノ出張所、産業組合聯合會及産業組合中央會ノ登記ニ付テハ其ノ事務所所在地ノ區裁判所ヲ以テ管轄登記所トス
- 第九十七條 各登記所ニ産業組合登記簿、産業組合聯合會登記簿及産

業組合中央會登記簿ヲ備フ

- 第九十八條 登記ノ囑託ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス  
囑託書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
- 一 産業組合、産業組合聯合會又ハ産業組合中央會ノ名稱及事務所
- 二 登記ノ目的及事由
- 三 年月日
- 四 登記所ノ表示
- 第九十九條 設立登記ノ囑託書ニハ定款及届書ヲ添附シ其ノ他ノ登記ノ囑託書ニハ届出ニ因ル場合ニ於テハ届書ヲ添附スヘシ

- 第百條 削除
- 第百一條 削除
- 第百二條 削除
- 第百三條 削除
- 第百四條 本法ノ規定ニ依リ登記シタル事項ハ裁判所遲滞ナク之ヲ

告スヘシ但シ組合原簿ニ記載シタル事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラス  
 第二百五條 非訟事件手續法第三百三十八條、第三百三十八條ノ二、第四百  
 十一條乃至第四百四十六條、第四百四十八條、第四百四十八條ノ二、第百  
 五十一條乃至第五百五十一條ノ六、第五百五十四條乃至第五百五十八條、  
 第六百六十五條及第七百七十五條ノ規定ハ産業組合、産業組合聯合會及  
 産業組合中央會ニ之ヲ準用ス

第六百六條 本法ノ規定ニ依リ郡長ノ行フヘキ職務ハ伊豆七島ニ於テハ  
 東京府知事、北海道ニ於テハ支廳長、島司ヲ置キタル島嶼ニ於テハ  
 島司之ヲ行フ

附 則 (大正六年法律第二十二號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(大正六年十月二十六日勅令第九十九號ヲ以テ同年十一月一日ヨリ施行ス)  
 本法施行前ニ登記シタル産業組合及産業組合聯合會ニシテ定款ニ區域  
 ノ定アルモノニ付テハ地方長官ハ本法施行ノ日ヨリ三月内ニ區域ノ登  
 記ヲ各事務所所在地ノ登記所ニ囑託スヘシ

市街地信用組合ノ拂戻準備金ノ管理ニ

關スル件

大正六年十月二十六日  
 勅令第二百一號

第一條 産業組合法第四十六條ノ二ノ規定ニ依ル拂戻準備金ノ管理ハ  
 左ノ方法ニ依ルヘシ

- 一 金錢又ハ有價證券ノ供託
- 二 郵便貯金法ニ依ル貯金又ハ有價證券保管
- 三 信用組合聯合會ヘノ貯金

前項第三號ノ貯金ハ拂戻準備金總額ノ二分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス  
 第二條 前條ノ有價證券ノ種類ハ左ノ範圍ヲ超ユルコトヲ得ス

- 一 國債證券
- 二 地方債證券
- 三 貯蓄債券
- 四 勸業債券

- 五 日本興業銀行ノ債券
- 六 北海道拓殖銀行ノ債券
- 七 農工債券

第三條 第一條ノ有價證券ノ見積價格ハ事業年度ニ從ヒ每六月末日ノ時價ヲ超ユルコトヲ得ス

第四條 産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ヲ取扱フ信用組合ハ事業年度ニ從ヒ六月毎ニ遲滯ナク第一條ノ規定ニ依ル管理ノ手續ヲ爲シ同法第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ノ額ヲ記載シタル書面及管理ノ事實ヲ證明スルニ足ルヘキ書面ヲ添ヘ其ノ旨地方長官ニ届出ツヘシ

第五條 拂戻準備金ハ地方長官ノ承認ヲ受クルニ非サレハ之ヲ引出スコトヲ得ス

前項ノ承認ノ申請ハ其ノ事由ヲ具シタル書面ニ産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ノ現在額並證券ヲ引出スモノニ在リテハ證券

ノ種類、記號、番號、券面ノ金額及枚數ヲ記載シタル書面ヲ添附シテ之ヲ爲スヘシ

附 則

本令ハ大正六年法律第二十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

産業組合法中主務大臣ノ行フ職務ニ關スル件

大正六年十月廿六日  
勅令第二百號

産業組合法中主務大臣ノ行フ職務ニシテ左ノ各號ノ一ニ關スルモノハ農商務大臣及大藏大臣協議シテ之ヲ行フ

- 一 産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依リ貯金ヲ取扱フ信用組合
- 二 信用組合聯合會及産業組合中央會ノ事業中前號ノ信用組合ニ關スル事業

前項ノ規定ハ樺太ニ付テハ之ヲ適用セス

附 則

本令ハ大正六年法律第二十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

四〇

### 産業組合法施行規則

明治四十二年八月二十一日

農商務省令第三十五號

改正大正六年十月二十七日農商務省令第三十號

第一條 信用組合ノ區域内ニ住居スル者ニ非サレハ加入ノ豫約ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ豫約者ニ對スル貯金ノ拂戻ハ豫約ノ消滅シタルトキニ限り之ヲ爲スコトヲ得

豫約者ハ其ノ貯金カ現在組合員ノ出資一口ニ對スル拂込金額ノ最小額ト同額ニ達シタル後ニ非サレハ組合ニ加入スルコトヲ得ス

豫約者カ豫約後三箇年ヲ經過シ尙ホ組合員ト爲ルニ至ラサルトハキ

組合ハ豫約ノ解除ヲ爲スヘシ

第二條 出資一口ノ金額ハ組合ニ在リテハ五十圓、聯合會ニ在リテハ五百圓ヲ超ユルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラ

第三條 第一回拂込ノ金額ハ出資一口ノ金額ノ十分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第四條 準備金ノ額ハ出資總額ヲ下ルコトヲ得ス

第五條 組合若ハ聯合會カ新ニ加入スル者ヨリ加入金ヲ徵收シ又ハ新ニ出資口數ヲ増加スル者ヨリ増口金ヲ徵收スルトキハ其ノ金額ハ之ヲ準備金ニ組入ルヘシ脱退シタル組合員又ハ組合若ハ聯合會ニ對シ其ノ持分ノ一部ヲ拂戻スヘキコトヲ定メタルトキハ其ノ殘額ニ付亦同シ

第六條 總代會ハ組合ニ在リテハ五百人以上ノ組合員、聯合會ニ在リテハ百以上ノ所屬組合及所屬聯合會ヲ有スルニ非サレハ之ヲ設クル

コトヲ得ス

總代會ヲ設ケムトスルトキハ定款ニ總代ノ員數、任期及選舉ニ關スル規定ヲ設クヘシ

第七條 産業組合法第九十條ノ代表者ハ道府縣毎ニ會員之ヲ選舉スヘシ

前條第二項ノ規定ハ前項ノ代表者ニ之ヲ準用ス

第八條 理事及監事ハ定款ノ規定又ハ總會若ハ總代會ノ決議ニ依ルニ非サレハ給料、報酬又ハ賞與ヲ受クルコトヲ得ス

第九條 組合、聯合會及中央會ノ事業年度ハ曆年ニ依ル但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九條ノ二 産業組合法第一條第三項又ハ第四項ノ規定ニ依ル貯金ノ受入及拂戻ニ付テハ組合員ノ貯金ト區別シテ整理シタル帳簿ヲ備付クヘシ

第九條ノ三 登記又ハ組合原簿若ハ聯合會原簿ノ記載ニ關スル届書ニ

ハ理事又ハ清算人署名捺印スヘシ

前項ノ届書ニハ受附ノ年月日ヲ記載スヘシ地方長官ニ於テ受理シタル組合原簿及聯合會原簿ニ付亦同シ

第九條ノ四 地方長官ニ提出スル組合原簿、聯合會原簿又ハ其ノ記載事項ノ變更ノ届書ニハ記載事項又ハ其ノ變更ニ付監事ノ證明書ヲ添付スヘシ但シ組合員ノ氏、名又ハ住所ノ變更ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ産業組合法第八十七條第二項第三號ノ事項ノ變更ノ届書ニ之ヲ準用ス

第十條 理事ハ總會又ハ總代會ノ承認ヲ經タル後遲滞ナク産業組合法第三十條第一項ニ掲ケタル書類ヲ組合又ハ聯合會ニ在リテハ地方長官ニ、中央會ニ在リテハ農商務大臣ニ差出スヘシ

第十一條 組合又ハ聯合會ノ事業報告書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 組合ニ在リテハ組合員ノ職業別ノ數並出資口數ノ異動、聯合會ニ在リテハ所屬組合及所屬聯合會ノ種類別ノ數並出資口數ノ異

動

- 二 出資拂込ノ總額及剩餘金ヲ以テ出資ノ拂込ニ充テタルトキハ其ノ總額
- 三 損益ノ計算並借入金及其ノ償還
- 三ノ二 準備金及各種ノ積立金
- 四 總會又ハ總代會ノ決議
- 五 事業ノ狀況
- 六 信用組合又ハ信用組合聯合會ニ在リテハ貸付シ又ハ償還ヲ受ケタル金額及件數、受入又ハ拂戻シタル貯金額及貯金ヲ爲シタル組合員又ハ所屬組合及所屬聯合會ノ數並貯金及貸付金ノ利率、産業組合法第一條第二項ノ豫約ヲ爲シタル信用組合ニ在リテハ豫約者ノ數及其ノ貯金額、販賣組合又ハ販賣組合聯合會ニ在リテハ受入又ハ販賣シタル物ノ種目別ノ數量及價額、購買組合又ハ購買組合聯合會ニ在リテハ購買又ハ賣却シタル物ノ種目別ノ

數量及價額、生産組合ニ在リテハ生産シタルモノノ種目別ノ數量又ハ加工若ハ利用ノ功程ヲ表示スヘキ事項、生産組合聯合會ニ在リテハ利用ノ功程ヲ表示スヘキ事項

- 六ノ二 産業組合法第一條第三項ノ規定ニ依ル貯金ヲ取扱フ信用組合ニ在リテハ其ノ貯金者ノ種類別數、受入又ハ拂戻シタル貯金額及貯金ノ利率

- 六ノ三 産業組合法第一條第四項ノ信用組合ニ在リテハ手形ノ種類別割引枚數、金額及割引ノ歩合、組合員及組合員外ノ貯金ノ種類毎ニ職業別及金額別ノ口數、金額、組合員外ノ貯金者ノ種類別數、受入又ハ拂戻シタル貯金額及貯金ノ利率並拂戻準備金ノ管理方法別ノ金額

七 處務ノ要件

前項ノ規定ハ中央會ノ事業報告書ニ之ヲ準用ス

第十二條 組合、聯合會又ハ中央會カ借入金ヲ爲サムトスルトキハ毎



年總會又ハ總代會ニ於テ一事業年度ニ於ケル借入額ノ最高限度ヲ議決スヘシ

前項ノ規定ハ信用組合又ハ信用組合聯合會カ一事業年度ニ於ケル一組合員又ハ一所屬組合若ハ一所屬聯合會ニ對シテ爲ス貸付額又ハ手形ノ割引金額ノ最高限度ニ付之ヲ準用ス

理事ハ前二項ノ規定ニ依リ議決シタル事項ヲ組合又ハ聯合會ニ在リテハ地方長官ニ中央會ニ在リテハ農商務大臣ニ遲滯ナク報告スヘシ  
第十二條ノ二 定款變更ノ認可申請書ニハ理由書及總會又ハ總代會ノ決議録ヲ添附スヘシ

第十二條ノ三 理事又ハ監事ノ變更ノ届書ニハ其ノ變更カ總會又ハ總代會ノ決議ニ依ル場合ニ在リテハ其ノ決議録、其ノ他ノ場合ニ在リテハ監事ノ證明書ヲ添附スヘシ

第十三條 出資一口ノ金額又ハ保證金額ノ減少ノ認可申請書ニハ第十二條ノ二ニ掲ケタル書類ノ外財産目錄、貸借對照表、産業組合法第

四十條ノ規定ニ依リ公告及催告ヲ爲シタルコト竝同法第四十一條ノ規定ニ依リ異議ヲ述ヘタル債權者ニ對シ辨濟ヲ爲シ又ハ擔保ヲ供シタルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第十四條 剩餘金ノ配當ハ持分ノ全部若ハ一部又ハ取扱ヒタル物ノ數量、價格若ハ事業ノ分量ニ對スルノ外之ヲ爲スコトヲ得ス  
持分ノ全部若ハ一部ニ對スル剩餘金配當ノ率ハ年六歩ヲ超ユルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ年一割迄之ヲ増加スルコトヲ得

第十四條ノ二 産業組合法第五十八條ノ場合ニ於ケル定款變更ノ認可申請書ニハ同條第二項ノ場合ニ在リテハ理由書及總組合員ノ同意ヲ證スル書面、同條第三項ノ場合ニ在リテハ第十三條ニ掲ケタル書類ヲ添附スヘシ

第十四條ノ三 産業組合法第六十二條第一項第一號又ハ第四項ノ事由ニ因ル解散ノ届書ニハ其ノ事由ヲ記載シ解散ノ當時ニ於ケル監事ノ

證明書ヲ添附スヘシ

四八

第十四條ノ四 總會ノ決議ニ因ル解散ノ認可申請書ニハ理由書、總會ノ決議録、財産目錄及貸借對照表ヲ添附スヘシ

第十五條 合併ノ認可申請書ニハ第十三條ニ掲ケタル書類ノ外合併契約書及合併後存續スル組合若ハ聯合會又ハ合併ニ因リテ設立スル組合若ハ聯合會ノ定款並産業組合法第六十三條ノ二ノ場合ニ於テハ申請者カ同條ノ規定ニ依リ選任セラレタル者ナルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

産業組合法第六十二條第二項但書ノ規定ニ依ル合併ニ付テハ前項ニ掲ケタル書類ノ外組合ニ在リテハ總組合員、聯合會ニ在リテハ總所屬組合及總所屬聯合會ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第十六條 組織變更ノ認可申請書ニハ組合ニ在リテハ總組合員、聯合會ニ在リテハ總所屬組合及總所屬聯合會ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附シ組合員又ハ所屬組合及所屬聯合會ノ責任ヲ減少スルトキハ尙ホ第

十三條ニ掲ケタル書類ヲ添附スヘシ

第十七條 組合又ハ聯合會カ中央會ニ加入シ又ハ脱退シタルトキハ其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第十七條ノ二 第十二條ノ三ノ規定ハ清算人ノ選任及其ノ變更ノ届書ニ之ヲ準用ス

第十七條ノ三 第十條ノ規定ハ清算人カ産業組合法第七十一條ノ規定ニ依ル承認ヲ經タル場合ニ之ヲ準用ス

第十七條ノ四 清算終了ノ届書ニハ總會又ハ總代會ノ承認ヲ經タル決算報告書ヲ添附スヘシ

第十八條 郡長又ハ郡長ノ職務ヲ行フヘキ者カ産業組合法第六十條ノ規定ニ依リ命令ヲ發シ又ハ處分ヲ行ハムトスルトキハ地方長官ノ指揮ヲ請フヘシ

第十九條 地方長官カ産業組合法第六十條又ハ第六十一條ノ規定ニ依リ命令ヲ發シ又ハ處分ヲ行ヒタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ農商務大臣ニ

報告スヘシ

第二十條 本則中農商務大臣トアルハ大正六年勅令第二百號ニ依リ農商務大臣及大藏大臣ノ所管ニ係ルモノニ付テハ農商務大臣及大藏大臣トス

附 則

本令ハ大正六年法律第二十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

### 産業組合法施行細則

(大正七年八月三十日神奈川縣令第七十一號)

第一條 組合ノ設立許可申請書ニハ定款二通竝設立ノ理由及事業計畫ヲ記載シタル書面ヲ添付スヘシ

聯合會ノ設立許可申請書ニハ前項ノ外設立者タル各組合又ハ各聯合會ノ總會又ハ總代會ノ決議錄ヲ添付スヘシ

第一項ノ定款ニハ産業組合法第九條ニ依ルノ外設立者ノ住所ヲ記載スヘシ

第二條 組合又ハ聯合會ノ定款變更認可申請書ニハ其變更セムトスル條項ノ原文及變更文ヲ明記スヘシ但シ目的變更ノ場合ニ於テハ別ニ變更定款二通ヲ添付スヘシ

前項ノ認可申請書ニ添付スヘキ書類中總會若クハ總代會ノ決議錄總組合員又ハ總所屬組合若クハ總所屬聯合會ノ同意ヲ證スル書面竝産

業組合法第四十條第二項及第四十一條第二項ノ手續ヲ踐ミタルコトヲ證スル書面ハ總テ二通ヲ要ス但シ定款ノ變更カ登記事項ニ關セサルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三條 定款ノ規定カ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ設立許可又ハ定款變更認可ノ申請書ニ其事由書ヲ添付スヘシ

一 信用組合ノ區域カ二市町村以上ニ涉ルトキ

二 聯合會ノ區域カ他ノ府縣ニ涉ルトキ

三 出資一口ノ金額カ組合ニ在リテハ五拾圓聯合會ニ在リテハ五百圓ヲ超ユルトキ

四 組合員又ハ所屬組合若クハ所屬聯合會ノ有シ得ヘキ出資口數參拾口ヲ超ユルトキ

五 持分ノ全部若クハ一部ニ對スル剩餘金配當ノ率年六歩ヲ超ユルトキ

六 事業年度カ曆年ニ依ラサルトキ

七 總代會ヲ設クルトキ

第四條 信用組合又ハ信用組合兼營組合ニシテ産業組合法第一條第二項ノ規定ニ依ル加入豫約者ノ貯金ヲ取扱ハムトスルトキハ定款ニ其旨記載スルノ外左ノ事項ヲ規定スヘシ

一 加入豫約者ノ資格

二 加入豫約ノ手續

三 加入豫約者ノ爲シ得ヘキ貯金ノ限度及期間

第五條 産業組合法第八十條第一項但書ニ依ル聯合會ノ理事及監事ノ選任ニ關スル認可申請書ニハ其事由ヲ記載シ且ツ本人ノ履歷書ヲ添付スヘシ

第六條 産業組合法施行規則第十四條ノ四ニ依リ總會ノ決議ニ因ル解散ノ認可申請書ニ添付スヘキ總會ノ決議錄ハ二通ヲ要ス

第七條 組合又ハ聯合會ノ理事ハ設立ノ許可ヲ受ケタル日ヨリ二ヶ月以内ニ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシムヘシ

前項ノ期間内ニ拂込ヲ了セサルトキハ其事由及拂込豫定期日ヲ知事ニ届出ヘシ

第八條 産業組合法第十六條ノ二第一項ノ届書ニハ定款ヲ添付スヘシ  
第九條 組合又ハ聯合會ノ事務所ニハ其名稱ヲ記載シタル標札ヲ掲クヘシ  
第十條 組合又ハ聯合會ハ左ノ帳簿ヲ備フヘシ

- 一 組合員名簿
  - 二 日記帳
  - 三 元帳
  - 四 持分臺帳
  - 五 備品臺帳
  - 六 處務日誌
  - 七 消耗品受拂簿
  - 八 借入金臺帳
  - 九 貯金臺帳
- (信用組合及同聯合會)

- 十 貸付金臺帳 (同上)
  - 十一 手形割引帳 (産業組合法第一條第四項ニ依ル信用組合)
  - 十二 購買品仕入帳 (購買組合又ハ同聯合會)
  - 十三 購買品賣却帳 (同上)
  - 十四 販賣品受入帳 (販賣組合又ハ同聯合會)
  - 十五 販賣品賣上帳 (同上)
  - 十六 物品加工帳 (信用組合以外ノ各種組合又ハ購買販賣組合聯合會)
  - 十七 設備利用帳 (生産組合又ハ同聯合會)
- 第十一條 組合又ハ聯合會ノ書類ノ編綴ハ概ネ左ノ標準ニ依ルヘシ

- 一 定款及規定類
- 二 加入脱退、持分讓渡及出資關係書類
- 三 財産目錄、貸借對照表、事業報告及剩餘金處分關係書類
- 四 總會及總代會關係書類
- 五 登記事項届出關係書類

- 六 許可認可其他監督官應關係重要書類
- 七 信用程度表及同關係書類
- 八 貸付金證據書類
- 九 事業執行ニ關スル重要書類
- 十 雜書類
- 第十二條 産業組合法第二十三條ノ規定ニ依リ總會又ハ總代會招集ノ請求ヲ受ケタルトキハ理事ハ一ヶ月以内ニ之ヲ招集スヘシ
- 第十三條 總會又ハ總代會ヲ開カムトスルトキハ開會ノ日ヨリ五日前ニ開會日時、會場及會議事項ヲ郡市長ニ届出ツヘシ
- 總會ニ於テ解散ノ決議ヲ爲サムトスルトキハ前項ノ届出ハ開會一週間前ニ知事ニ之ヲ爲スヘシ
- 總會又ハ總代會カ産業組合法第二十三條ニ依ル組合員又ハ所屬組合若クハ所屬聯合會ノ請求ニ係ルトキ又ハ同法第三十四條ニ依リ監事ノ招集スル場合ハ前二項ノ届出ニ其旨附記スヘシ

- 第十四條 事業執行細則其他ノ規程ヲ設ケタルトキハ其旨直ニ知事ニ届出ツヘシ之ヲ變更廢止シタル場合亦同シ
- 第十五條 出資ノ總口數及拂込ミタル出資ノ總額ニ關スル組合原簿又ハ聯合會原簿ノ記載事項變更届書ニハ其變更内譯書ヲ添付スヘシ
- 第十六條 組合又ハ聯合會ハ一事業年度内ニ於テ出資ノ總口數及拂込ミタル出資ノ總額ニ變更ナキ場合ト雖モ其年度ノ終ヨリ二週間内ニ其旨知事ニ届出ヘシ無限責任又ハ保證責任組合ニ於ケル組合員ノ氏名及住所ニ變更ナキ場合亦同シ
- 第十七條 登記又ハ組合原簿若クハ聯合會原簿ノ記載ニ關スル届書及其附屬書類ハ二通ヲ要ス但シ定款、監事ノ證明書並前條ノ内譯書ハ此限ニ在ラス
- 第十八條 産業組合法施行規則第十條ニ依リ差出ヘキ書類ハ別記様式ニ依リ作成シ總會又ハ總代會ノ承認ヲ經タル後二週間内ニ之ヲ差出スヘシ

第十九條 産業組合法施行規則第十二條ニ依ル報告ハ總會又ハ總代會ノ議決後二週間内ニ之ヲ爲スヘシ

第二十條 損失填補ノ爲メ特別積立金又ハ準備金ヲ支出シタルトキハ遲滯ナク其事由ヲ具シ損失金額及填補額ヲ知事ニ届出ヘシ

第二十一條 組合又ハ聯合會カ一ヶ月以上事業ヲ休止セムトスルトキハ事由ヲ具シ其期間ヲ知事ニ届出ヘシ

第二十二條 産業組合法第六十九條又ハ第七十五條ニ依リ破産宣告ノ請求ヲ爲シタルトキハ理事又ハ清算人ハ直ニ其旨知事ニ報告スヘシ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ亦同シ

第二十三條 組合又ハ聯合會ヨリ提出スヘキ書類ハ總テ所轄郡市町村長ヲ經由スヘシ但シ登記又ハ組合原簿若クハ聯合會原簿ノ記載ニ關スル届書ハ此限ニ在ラス

附 則

本則ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

様式

第一 産業組合

○甲財産目録様式(信用組合ノ例其ノ他ノ組合モ之ニ準ス)

資 産		口 數	何 圓
拂込未済出資金			
貸付金	件 數		何 圓
預金	種類及各金額		何 圓
土地	地目及各面積		何 圓
證券	種類及各金額		何 圓
建物	所在棟數及坪數		何 圓
什器	種類及各點數		何 圓
何 何			何 圓
現金			何 圓





職業名別	前年度末現在		本年度増加		本年度減少		本年度末現在	
	員數	組合口數	員數	組合口數	員數	組合口數	員數	組合口數
農業								
工業								
商業								
水産業								
林業								
雑業								
計								

(注意) 豫約者ヨリ加入シタル者ノ數及職業別ノ數ヲ附記スヘシ

二、出資拂込

年度別	各自拂込	剰餘金ヨリ拂込	合計
前年度末現在高		円十萬圓	円十萬圓
本年度拂込高			
本年度拂戻高			
本年度末現在高			

(注意) 「剰餘金ヨリ拂込」欄ノ本年度拂込高ハ前年度剰餘金處分ニ依リ配當セラレタル剰餘金ヲ記載スヘシ本年度拂戻高ノ記載ハ實際拂戻ヲ爲シタル年度ニ屬スル分ヲ記載スヘシ

三、損益計算

利益		損失	
種目	金額	種目	金額
貸付金利息	円十萬圓	貯金利息	円十萬圓
預金利息		借入金利息	

土地收入		諸給料
國庫證券利息		雜費
何何		通信費
何何		
雜收入		
合計		合計

差引剩餘金

四、借入金及其ノ償還

前年度末現在高	本年度借入金	本年度償還高	本年度末現在高
円十萬圓	円十四萬圓	円十萬圓	円十萬圓

(注意)本年度ノ借入金高ニ付テハ其ノ元本ハ其利率ノ種類ニ從ヒ記載スヘシ  
借入金ノ最高、最低及普通利率ヲ年利ヲ以テ附記スヘシ  
普通利率ハ借入金(前年度末現在ヲ含ム)各口ニ付金額ニ其ノ借入日數ヲ乘シタル積ノ合

計ヲ以テ利息ノ合計ヲ除シタル商ニ依ル但シ計算ヲ困難トスル組合ニ在リテハ主ナル借入金ニ對スル利率ニ依ルモ差支ナシ

五、準備金及各種積立金

區別	前年度末現在	本年度積立	本年度處分	本年度末現在
準備金				
特別積立金				
何々積立金				
計				

(注意) 本年度積立及本年度處分ノ金額ニ付テハ其ノ積立又ハ處分シタル種目別ノ金額ヲ附記スヘシ

六、總會又ハ總代會ノ決議

總會又ハ總代會ノ種類、開會ノ時期、施行規則第十二條ノ借入及貸付最高金額其ノ他決議ノ要領等ヲ記スヘシ

(治意) 本事業報告書ノ承認ヲ爲スヘキ總會又ハ總代會ニ於ケル事項ハ翌年度ノ事業報告書

七、事業ノ狀況

貸付貯金取扱ノ繁閑、資金需要ノ狀況其ノ他組合事業ニ付記載スヘシ

八、貸付金及其ノ償還

區別	前年度末現在		本年度貸付		本年度償還		本年度末現在	
	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數
無擔保	円十萬圓	件	円十萬圓	件	円十萬圓	件	円十萬圓	件
有擔保								
計								

(注意) 物上擔保貸付ニ非サル貸付ハ無擔保貸付中ニ算入スヘシ

貸付ノ目的、擔保ノ種類ヲ附記スヘシ

九、貯金

前年度末現在	本年度受入		本年度拂戻		本年度末現在	
	金額	員數	金額	員數	金額	員數
円十萬圓	円十萬圓	人	円十萬圓	人	円十萬圓	人

(注意) 脱退者ノ貯金ニシテ未タ拂戻ヲ爲ササルモノヲ包含セル場合ニハ其ノ人員及金額ヲ欄外ニ記載スヘシ

十、貸付及貯金利率

貸付金	貯金	
	最高	最低
最高	最高	最低
最低	最低	普通
普通	普通	普通

(注意) 總テ利率ハ年利ヲ以テ記載スヘシ  
「普通」ハ貸付金若ハ貯金(何レモ前年度末現在ヲ含ム)各口ニ付金額ニ其ノ貸付日數若ハ預  
リ日數ヲ乘シタル積ノ合計ヲ以テ貸付金利息ノ合計ヲ除シタル商ニ依ル但シ計算ヲ困難トス

ル組合ニ在リテハ件數最モ多キ利率ニ依ルモ差支ナシ

十一、豫約者ノ數及其ノ貯金

前年度末現在		本年度受入		本年度拂戻		本年度末現在	
金額	員數	金額	員數	金額	員數	金額	員數
円十萬圓	人	円十萬圓	人	円十萬圓	人	円十萬圓	人

十二、處務ノ要件

官廳ヘノ申請、報告、届出、官廳ノ検査、命令、登記其ノ他重要ナル事項ヲ列記スヘシ

十三、産業組合法施行規則第十一條第六ノ二號第六ノ三號ニ關スル様式

産業組合法第一條第三項及第四項ノ事業ヲ營ム信用組合ニ在リテハ前各様式ニ依ルノ外左ノ様式ニ依ルヘシ

(一)手形割引及其ノ決濟

計	區別		前年度末現在高		本年度割引高		本年度決濟高		本年度末現在高	
	約束手形	爲替手形	金額	枚數	金額	枚數	金額	枚數	金額	枚數
			円十萬圓	枚	円十萬圓	枚	円十萬圓	枚	円十萬圓	枚

(注意) 擔保ノ種類ヲ附記スヘシ

(二)組合員外貯金

産業組合法第一條第三	區別	前年度末現在高		本年度受入高		本年度拂戻高		本年度末現在高	
		金額	人員又ハ團體數	金額	人員又ハ團體數	金額	人員又ハ團體數	金額	人員又ハ團體數
組合員ト同一ノ家ニ在ル者		円十萬圓		円十萬圓		円十萬圓		円十萬圓	





一金 何圓  
 差引  
 一金 何圓  
 此ノ處分  
 一金 何圓  
 一金 何圓  
 内 何圓  
 一金 何圓  
 一金 何圓

本年度總損金  
 本年度剩餘金

(剩餘金ノ何分ノ一) 準備金  
 (何々ニ對シ年何分ノ割) 配當金  
 出資ノ拂込ニ充ツ  
 特別積立金  
 何々

○戊信用組合以外ノ各組合ニ付產業組合法施行規則第十一條第六號ニ關スル様式

(販賣組合)

受入又ハ販賣シタルモノ、數量及價額

種目	前年度末現在高		本年度受入高		本年度販賣高		本年度末現在高	
	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
何	何	何	何	何	何	何	何	何
何	何	何	何	何	何	何	何	何
何	何	何	何	何	何	何	何	何
何	何	何	何	何	何	何	何	何
計	何	何	何	何	何	何	何	何

注意 委託販賣ニ依ルモノト否トハ之ヲ區別シテ記入スヘシ  
 「本年度受入高」ノ「價額」ハ委託販賣ノ場合ニ於テハ記入ヲ要セス  
 「本年度末現在高」ノ「價額」ハ時價ヲ以テ之ヲ示スヘシ  
 加工ヲ爲シタル場合ニ於テハ生産組合加工ノ様式ニ準シ相當附記スヘシ 但シ加工料ノ記載ヲ要セス

(購買組合)

購買又ハ賣却シタル物ノ數量及價額

種 目	前年度末現在高		本年度購買高		本年度賣却高		本年度末現在高	
	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
何	何	何	何	何	何	何	何	何
何	何	何	何	何	何	何	何	何
何	何	何	何	何	何	何	何	何
何	何	何	何	何	何	何	何	何
何	何	何	何	何	何	何	何	何
計								

(注意) 「本年度末現在高」ノ「價額」ハ時價ヲ以テ示スヘシ  
 産業用品生計用品ノ何レカ一方ノミヲ取扱フ組合ニ在リテハ其ノ旨兩種ノ物品ヲ取扱フ組  
 合ニ在リテハ本年度賣却高ノ總額ヲ可成實際ノ用途ニ據リ産業用品ト生計用品トニ分チタ  
 ルモノヲ必ス附記スヘシ

物品ノ種類多ク數量又ハ價額少キカ爲メ一々其ノ數量及價額ヲ記載スルノ煩ニ堪ヘサル場  
 合ニハ重ナル物品ニ付テノミ之ヲ記載シ其ノ他ニ付テハ數量ノ記載ヲ略シ價額ハ是等ヲ合  
 計シタルモノヲ記載スルモ差支ナシ但シ物品名ハ悉ク記載スルコトヲ要ス  
 加工ヲ爲シタル場合ニ於テハ生産組合ノ加工ノ様式ニ準シ相當附記スヘシ但シ加工料ノ記  
 載ヲ要セス

(生産組合)

生産シタル物ノ數量又ハ加工若ハ利用ノ功程

(イ)生産シタル物ノ種目別ノ數量加工ノ功程

種 目	加工後ノ物		加工前ノ物		加 工 料 備 考
	數量	種	數量	種	

(注意) 加工前ノ物ノ數量ニハ加工スヘキ物トシテ受入レ未タ加工ヲ了ラサル物ノ數量ヲ  
 包含セシメサルヲ要ス備考ニハ加工ノ設備方法ヲ簡單ニ記載スヘシ

右ノ様式ニ依リ難キモノハ加工ノ功程ノ概要ヲ示ス様便宜記載スヘ



シ

(ロ)設備ノ利用

設備		利用ノ程度	利・用料	備考
種目	數量			

(注意) 備考ニハ利用ノ方法ヲ簡單ニ記載スヘシ

右ノ様式ニ依リ難キモノアラハ利用ノ功程ノ概要ヲ示ス様便宜記載スヘシ

第二 産業組合聯合會

産業組合ヨリ差出スヘキ書類ノ様式ハ産業組合聯合會ヨリ差出スヘキ書類會ノ様式ニ之ヲ準用ス但シ「丙」事業報告様式第一號中「組合員ノ職業別」欄ニハ「組合又ハ聯合會ノ種類」「組合員數」ノ欄ニハ「組合又ハ聯合會ノ數」ヲ記載スヘシ

産業組合登記取扱手續

明治四十二年八月十六日司法省令第十七號  
 改正大正二年五月二十二日司法省令第二十二號  
 改正大正六年十月二十七日司法省令第八號  
 改正大正七年三月二十五日司法省令第一號

第一條 産業組合登記簿ハ附録第一號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第二條 産業組合聯合會登記簿ハ附録第一號雛形ニ準シ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第三條 産業組合中央會登記簿ハ附録第二號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第四條 産業組合登記見出帳ハ附録第三號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第五條 産業組合登記受附帳ハ附録第四號雛形ニ依リ毎年之ヲ調製スヘシ

受附番號ハ一箇年毎ニ更新スヘシ

第六條 登記所ニハ左ノ帳簿ヲ備フヘシ

- 一 囑託書類綴込帳
- 二 決定原本綴込帳
- 三 抗告書類綴込帳
- 四 登記済證交付帳
- 五 謄本抄本證明書交付帳
- 六 受領證原符元帳

第七條 前條ノ帳簿ハ一箇年毎ニ別冊ト爲スヘシ但シ分冊スルコトヲ妨ケス

第八條 組合原簿ハ附録第五號乃至第七號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

聯合會原簿ハ附録第五號雛形及第七號雛形ニ準シ之ヲ調製スヘシ

第九條 組合原簿及聯合會原簿ニハ強靱ナル美濃紙ヲ用フヘシ

第十條 組合原簿及聯合會原簿ニハ組合ノ代表者其ノ表紙ニ署名捺印

シ且毎葉ノ綴目ニ契印ヲ爲スヘシ

第十一條 組合原簿及聯合會原簿ハ永久ニ之ヲ保存スヘシ

産業組合登記受附帳ハ十年間之ヲ保存スヘシ

決定原本綴込帳及抗告書類綴込帳ハ五年間之ヲ保存スヘシ

登記済證交付帳、謄本抄本證明書交付帳及受領證原符元帳ハ三年間之ヲ保存スヘシ

前三項ノ帳簿ノ保存期間ハ當該年度ノ翌年ヨリ之ヲ起算ス

第十二條 産業組合登記又ハ組合原簿ノ記載ノ囑託書ニハ其ノ登記又ハ記載ニ關スル届書ノ外總會若ハ總代会ノ決議又ハ總組合員ノ同意ヲ要スル事項ニ付其ノ決議又ハ同意アリタルコト、産業組合法第四十條第二項及第四十一條第二項ノ手續ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ手續ヲ踐ミタルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第十三條 削除

第十四條 組合ノ區域ノ登記ハ登記用紙中豫備欄ニ之ヲ爲スヘシ

第十五條 組合ノ事務所ノ移轉又ハ合併ニ因リ産業組合法第十四條第一項ニ定ムル登記ヲ爲シタルトキハ登記用紙中豫備欄ニ其ノ事由ヲ記載スヘシ

第十六條 主タル事務所ニ非サル事務所ノ廢止ノ登記ヲ爲シタルトキハ登記用紙ヲ閉鎖スヘシ但シ登記所ノ管轄内ニ他ノ事務所アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十七條 理事又ハ監事ノ再選ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ登記スルヲ以テ足ル

第十八條 産業組合法第十六條ノ六第二項ノ組合原簿ハ前ニ送付ヲ受ケタル組合原簿ニ編綴シ登記官吏其ノ綴目ニ契印ヲ爲スヘシ

第十九條 組合原簿ノ記載ノ變更ハ其ノ變更欄ニ之ヲ記載シ變更シタル事項ヲ朱抹スヘシ

第二十條 行政區劃又ハ土地ノ名稱ノ更正ヲ爲スニハ登記簿ノ記載ニ付テハ登記用紙中變更欄ニ、組合原簿ノ記載ニ付テハ原簿ノ表紙ノ

裏面ニ新舊ノ名稱及變更アリタル旨ヲ記載シ登記官吏之ニ捺印スルヲ以テ足ル

第二十一條 組合原簿ニハ其ノ表紙ニ登記番號並受付ノ年月日及番號ヲ記載スヘシ

第二十二條 組合原簿ハ之ヲ合綴スルコトヲ得合綴シタル帳簿ニハ目錄ヲ附スヘシ

第二十三條 無限責任組合原簿又ハ保證責任組合原簿ノ甲部用紙中或變更欄ニ餘白ナキニ至リタルトキハ登記官吏ハ其ノ組合原簿ニ甲部ノミノ繼續用紙ヲ編綴シ前用紙及繼續用紙ニ交互參看ノ記載ヲ爲スヘシ

前用紙中他ノ變更欄ニ餘白アルトキハ其ノ欄ニ記載スヘキ事項ニ付テハ仍之ニ記載ヲ爲スヘシ

第二十四條 前條ノ規定ハ無限責任組合原簿又ハ保證責任組合原簿ノ乙部用紙及有限責任組合原簿ニ之ヲ準用ス但シ無限責任組合原簿又

ハ保證責任組合原簿ノ繼續用紙ニハ組合員ノ氏名、住所保證責任組合ニ在リテハ保證金額ヲ移記スヘシ

第二十五條 清算終了ノ登記ハ登記用紙中豫備欄ニ之ヲ爲スヘシ

第二十六條 産業組合聯合會ノ登記ノ囑託書其ノ他ノ書類ノ受附ニ關スル記載ハ産業組合登記受附帳ニ之ヲ爲スヘシ

第二十七條 産業組合聯合會ノ登記及産業組合聯合會原簿ノ記載ニ付テハ産業組合ノ登記及産業組合原簿ノ記載ニ關スル規定ヲ準用ス

第二十八條 第十二條、第十五條乃至第十七條、第二十條、第二十五條及第二十六條ノ規定ハ産業組合中央會ノ登記ニ之ヲ準用ス

第二十九條 不動産登記法施行細則第四條、第五條、第二十條乃至第二十四條、第三十三條乃至第三十五條ノ二、第三十六條、第三十七條、第三十九條、第四十七條及商業登記取扱手續第九條、第十條乃至第十三條、第十五條乃至第二十條、第二十三條乃至第二十八條、第二十九條乃至第三十三條、第四十四條、第四十四條ノ八乃至第四

十六條、第四十九條ノ三ノ規定ハ産業組合、産業組合聯合會及産業組合中央會ノ登記ニ之ヲ準用ス

附 則

本令ハ大正六年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十二年司法省令第十七號産業組合登記取扱手續第五十一條乃至第五十三條ノ規定ハ仍其ノ効力ヲ有ス但シ届出及組合原簿ノ送付ニ付テハ本令ノ規定ニ依ル

本令施行前ニ生シタル事項ニシテ未タ登記ノ手續ヲ經サルモノニ付テハ本令ヲ適用ス

従前ノ印鑑簿ハ適宜之ヲ廢毀スヘシ

更	變	更	變
更	變	更	變
		丁	

更	變	更	變
更	變	更	變
		丁	

紙數表紙ヲ除キ  
枚  
地方裁判所長

附錄第一號  
產業組合登記簿  
區裁判所

一十		一十	十	九	號		第	番	登
住氏人清	月由解	散期存	所名ノ監	六	五	四	三	二	一
所名ノ算	日及ヒ年	ノ事由	住氏事	ノ出資一	ノ設立許	目的	事務所	組織	名稱
年月日登記	年月日登記								
備				豫		八		七	
						所名ノ理		法ノ拂出	
						住氏事		方込資	

更	變	更	變
更	變	更	變

紙數表紙ヲ除キ  
枚  
地方裁判所長

附錄第二號  
產業組合中央會登記簿  
區裁判所

更	變	更	變
更	變	更	變

備	豫	一	十	九	六	五	四	三	二	一	登記
		住氏人清 所名ノ算	由及 月日 及 年	解 散 ノ 事 由	期 又 立 ノ 時	存 立 ノ 時	總 資 産 ノ 額	設 立 許 可 ノ 日	種 業 ノ 額	事 務 所	名 稱
		年 月 日 登 記	年 月 日 登 記								年 月 日 登 記
備		豫		八			七				
				所名ノ監 住氏事			所名ノ理 住氏事				

附錄第三號

產業組合登記見出帳

區裁判所

部ノ		部ノ	
名稱		名稱	
	冊數丁數登記番號ノ冊數		冊數丁數登記番號ノ冊數
	登記簿		登記簿
	備考		備考

九〇

附錄第四號

產業組合登記受附帳

區裁判所

部ノ		部ノ	
名稱		名稱	
	冊數丁數登記番號ノ冊數		冊數丁數登記番號ノ冊數
	登記簿		登記簿
	備考		備考

九一

附錄第五號

有限責任何々組合ノ  
稱組合原簿

附錄第六號

無限責任何々組合ノ  
稱組合原簿

部 甲

更	變	更	變	出資 ノ 日數	稱名
更	變	更	變	出資 ノ 日數	
		丁			

更	變	更	變	出資 ノ 日數	稱名
更	變	更	變	出資 ノ 日數	
		丁			



部 甲

更 變	更 變	出資ノ日數	稱 名
更 變	更 變	三掛 ミタ ル出 ノ頭	

丁

部 乙

更 變	組合員ノ 氏名住所ノ	更 變	組合員ノ 氏名住所ノ
更 變	組合員ノ 氏名住所ノ	更 變	組合員ノ 氏名住所ノ

丁

部 乙

更 變	組合員ノ 氏名住所ノ	保證金額	更 變	組合員ノ 氏名住所ノ	保證金額
更 變	組合員ノ 氏名住所ノ	保證金額	更 變	組合員ノ 氏名住所ノ	保證金額

丁

附錄第七號  
保證責任何々組合ノ  
稱組合原簿

産業組合登記簿ノ謄本又ハ抄本  
手數料ノ件

九六

明治三十三年七月二十三日司法省令第三十號  
明治四十二年八月十六日司法省令第十八號改正

産業組合登記簿、産業組合聯合會登記簿及ヒ産業組合中央會登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ノ請求等ニ關スル手數料ニ付テハ明治三十二年司法省令第十四號第一條及第三條乃至第六條ノ規定ヲ準用ス

明治三十二年司法省令第十四號第一條 不動産登記法第三十一條又ハ非訟事件手續法第四百二十二條ノ規定ニ依リ登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者ハ其ノ用紙一枚ニ付キ手數料金十錢ヲ納ムヘシ但一枚ニ滿タサルモノト雖モ仍ホ之ヲ一枚ニ計算ス

同第三條 非訟事件手續法第四百十三條ノ規定ニ依リ登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ヲ請求スルモノハ每一件手數料金十錢ヲ納ムヘシ

同第四條 明治三十二年司法省令第十三號第二十七條ノ規定ニ依リ商業登記ニ付キ登記濟證ノ交付ヲ請求スル者ハ手數料金五錢ヲ納ムヘシ

同第五條 手數料ハ收入印紙ヲ申請書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ

同第六條 第一條乃至第三條ノ規定ハ官吏又ハ公吏カ政府ノ利益ノ爲メ其ノ職務ヲ以テ請求ヲ爲ス場合ニハ之ヲ適用セス

本令ハ明治四十二年法律第二十七號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

産業組合ニ關スル登記ヲ取扱フ登記所ノ件

明治三十三年七月十四日  
司法省令第二十四號

産業組合ニ關スル登記ノ事務ハ商業登記ヲ取扱フ登記所ニ於テノミ之ヲ取扱ハシム

登録税法抄

(明治二十九年三月  
法律第二十七號)

九七

大正七年三月二十六日改正施行

第十九條 左ニ掲クルモノニハ登録税ヲ課セス

(中略)

五 産業組合、産業組合聯合會、産業組合中央會、漁業組合又ハ漁業組合聯合會ニ付産業組合法又ハ漁業組合法ニ基キテ爲ス登記

政府ニ於テ産業組合ヨリ物品ノ買入ヲ爲ストキ隨意契約ニ依ルコトヲ得ルノ件

明治三十八年八月十七日勅令第二百一號  
改正同四十二年九月十五日勅令第二百十九號

政府ニ於テ産業組合又ハ産業組合聯合會ヨリ直接ニ物品ノ買入ヲ爲ストキハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

### 産業組合法第一條ノ規定ニ依ル市街

#### 地指定ノ件

大正六年十二月四日  
農商務省告示第三百四十六號

産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル市街地ヲ左ノ通指定ス

- (北海道廳) 札幌區 小樽區 函館區 旭川區 室蘭町 釧路町
- 登川町 (東京府) 品川町 大森町 内藤新宿町 澁谷町
- 南千住町 千住町 龜戶町 (京都府) 伏見町 (大阪府) 岸和田町
- 町 (神奈川県) 小田原町 (兵庫縣) 西宮町 明石町 (埼玉縣) 川越町 熊谷町 浦和町 (群馬縣) 桐生町 (千葉縣) 千葉町
- 本銚子町 (栃木縣) 栃木町 足利町 (三重縣) 桑名町 (愛知縣) 一宮町 (滋賀縣) 彦根町 (岐阜縣) 大垣町 (長野縣) 上田町
- (福島縣) 郡山町 (山形縣) 鶴岡町 酒田町 (秋田縣) 能代港
- 町 (鳥取縣) 米子町 (岡山縣) 玉島町 (山口縣) 防府町 山

口町 (和歌山縣) 新宮町 (福岡縣) 飯塚町 (大分縣) 別府町  
白杵町 (宮崎縣) 宮崎町 都城町 (沖繩縣) 那覇區 首里區

一〇〇

### 農業倉庫業法

大正六年七月二十日法律第十五號  
同年九月一日ヨリ施行

第一條 本法ニ於テ農業倉庫業者トハ農業ヲ營ム者カ其ノ生産シタル穀物若ハ繭ヲ、又ハ土地ニ付權利ヲ有スル者カ小作料トシテ受ケタル穀物ヲ所有スル場合ニ於テ其ノ者ノ爲ニ本法ニ依リ之ヲ倉庫ニ保管スル者ヲ謂フ

前項ニ規定スル寄託物ニ付所有權ノ移轉アリタルトキト雖農業倉庫業者ハ其ノ寄託物ノ保管期間内ニ限り之ヲ保管スルコトヲ得  
農業倉庫業者ハ他ノ農業倉庫業者カ前二項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル物品ヲ保管スルコトヲ得

農業倉庫業者ハ前三項ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキ場合ニ限り業務規程ノ定ムル所ニ依リ前三項ノ規定ニ依ラス物品ノ保管ヲ爲スコトヲ得

第二條 農業倉庫業者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ前條ノ事業ノ外左

ノ事業ヲ爲スコトヲ得

- 一 受寄物ノ調製改装又ハ荷造ヲ爲スコト
- 二 受寄物ノ運送又ハ販賣ノ仲立ヲ爲スコト
- 三 受寄物ノ運送又ハ販賣ノ取次ヲ爲スコト
- 四 自己ノ作成シタル農業倉庫證券ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲スコト
- 五 他ノ農業倉庫業者カ擔保トシテ受取リタル農業倉庫證券ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲スコト

第三條 農業倉庫業者ハ營利ヲ目的トシテ其ノ事業ヲ爲スコトヲ得ス

第四條 産業組合、農會、農業ノ發達ヲ目的トスル公益法人並市町村及之ニ準スヘキモノニ非サレハ農業倉庫業者タルコトヲ得ス

第五條 産業組合カ農業倉庫業者タルトキハ産業組合法ニ規定スルモノノ外第一條及第二條ニ規定スル事業ヲ目的ト爲スコトヲ得  
産業組合ハ組合員ノ爲ニ前項ノ事業ヲ爲スノ外附隨トシテ組合員ニ非サル者ノ爲ニ之ヲ爲スコトヲ得但シ第二條第四號及第五號ノ事業

ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

農會又ハ公益法人カ農業倉庫業者タルトキハ第二條第四號及第五號ノ事業ヲ爲スコトヲ得ス

第六條 農業倉庫業者タラムトスル者ハ業務規程ヲ具シ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第七條 農業倉庫業者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ種類及品位ノ同一ナル寄託物ヲ混合シテ保管スルコトヲ得

第八條 農業倉庫業者ノ作成スル預證券及質入證券又ハ倉荷證券ニハ農業倉庫證券ナル文字ヲ記載スルコトヲ要ス

農業倉庫業者ニ非サル者ノ作成スル預證券及質入證券又ハ倉荷證券ニハ農業倉庫證券ナル文字ヲ記載スルコトヲ得ス

第九條 混合保管ノ場合ニ於テハ農業倉庫業者ハ農業倉庫證券ニ其ノ旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第十條 寄託物ノ保管期間ハ寄託ノ日ヨリ六月以内トス

第一條第一項又ハ第三項ニ規定スル寄託物ニ付テハ保管期間ヲ更新スルコトヲ得但シ寄託者ハ更新ノ際同條第一項又ハ第三項ニ掲クル者タルコトヲ要シ其ノ期間ハ六月ヲ超ユルコトヲ得ス

第一條第四項ニ規定スル寄託物ニ付テハ同條第一項乃至第三項ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキ場合ニ限り保管期間ヲ更新スルコトヲ得其ノ期間ハ前項但書ニ同シ

第十一條 商法第三編第五章乃至第七章及第九章第二節ハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外農業倉庫業者ニ之ヲ準用ス

第十二條 商法第三百七十六條ノ規定ハ受寄物ノ調製、改装又ハ荷造ニ關シ農業倉庫業者ニ之ヲ準用ス

第十三條 農業倉庫業者業務規程ヲ變更セムトスルトキハ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第十四條 農業倉庫業者ニハ所得税及營業稅ヲ課セス

第十五條 行政官廳公益上必要ト認ムルトキハ農業倉庫業者ニ對シ其

ノ指定スル穀物又ハ繭ノ寄託ヲ受ケ、受寄物ノ検査其ノ他ノ行爲ヲ爲スヘキコトヲ命スルコトヲ得

第十六條 行政官廳ハ農業倉庫業者ニ對シ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ書類、帳簿又ハ業務執行若ハ財産ノ狀況ヲ検査シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十七條 行政官廳農業倉庫業者ノ業務執行若ハ財産ノ狀況ニ依リ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキ、農業倉庫業者ノ行爲カ法令若ハ業務規程ニ違反シタルトキ又ハ其ノ行爲カ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ事業ノ停止ヲ命シ又ハ認可ヲ取消スコトヲ得

第十八條 農業倉庫業者タル法人ノ理事又ハ之ニ準スヘキ者本法又ハ本法ニ基キテ爲ス命令又ハ處分ニ違反シタルトキハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ之ヲ準用ス

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (大正六年八月十八日勅令第百十號ヲ以テ同年九月一日ヨリ施行)

### 農業倉庫業法施行規則

大正六年八月十五日  
農商務省令第十五號

第一條 農業倉庫業ノ認可申請書ニハ業務規程ノ外左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

- 一 申請ノ理由
- 二 倉庫ニ於テ取扱フヘキ物品ノ種類別數量ノ豫定
- 三 倉庫ノ所在地
- 四 倉庫ノ棟數、建坪、主要ナル構造又ハ工事及收容力並倉庫經營ニ要スル敷地ノ面積ニ關スル事項
- 五 倉庫及敷地ハ申請者ノ所有ニ係ルモノナリヤ否ヤノ別及所有ニ係ラサルモノニ付テハ其ノ使用ノ權利ニ關スル事項

- 六 倉庫ハ既設ノモノナリヤ否ヤノ別並新ニ建築、改築又ハ修繕ヲ爲スモノニ付テハ其ノ竣工ノ豫定期日及既設ノモノニ付テハ建築ノ時期
  - 七 附屬ノ設備ニ關スル事項
  - 八 貸付事業ヲ爲ス場合ニ於テハ貸付金總額ノ豫定及其ノ調達方法
  - 九 起業費及一箇年ノ收支概算
  - 十 申請者タル法人ニ於テ農業倉庫業開始ノ決定ヲ要スルモノニ在リテハ其ノ決定ヲ證スル書面
  - 十一 公益法人ニ在リテハ定款又ハ寄附行爲及財産目錄
- 第二條 業務規程ニハ左ノ事項ヲ規定スヘシ
- 一 事業ノ種類及農業倉庫業法第一條第四項ノ規定ニ依ル保管ヲ爲スモノニ在リテハ其ノ旨
  - 二 保管スヘキ物品ノ名稱
  - 三 農業倉庫業法第一項第四條ノ規定ニ依リ保管スヘキ物品ニ付保

- 管ノ順位ヲ定メタルトキハ其ノ順位竝同條第一項乃至第三項ノ規定ニ依ル保管上必要アルトキハ何時ニテモ同條第四項ノ規定ニ依ル保管物ノ出庫ヲ爲サシメ得ヘキ旨及其ノ出庫ノ順位
- 四 保管ノ方法及保管上特殊ノ作業ヲ爲スモノニ在リテハ其ノ作業保管料ニ關スル規定
- 五 保管期間ニ關スル規定
- 六 他ノ農業倉庫業者又ハ倉庫營業者ニ受寄物ノ寄託ヲ爲スモノニ在リテハ其旨及寄託スヘキ農業倉庫業者又ハ倉庫營業者ノ名稱
- 八 受寄物ノ入庫及出庫ニ關スル規定
- 九 證券發行ニ關スル規定
- 十 保險ニ關スル定アルモノニ付テハ之ニ關スル規定
- 十一 避クヘカラサル事由ニ依ル減量ノ負擔ニ關スル規定
- 十二 受寄物ノ検査ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定
- 十三 農業倉庫業法第二條ノ規定ニ依ル事業ヲ爲スモノニ在リテハ

## 之ニ關スル規定

- 十四 産業組合ニ於テ組合員ニ非サル者ノ爲ニ事業ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定
- 十五 剩餘金又ハ損失金ニ關スル規定
- 第三條 混合保管ヲ爲スモノニ在リテハ前條ノ事項ノ外業務規程中ニ左ノ事項ヲ規定スヘシ
- 一 混合保管ノ範圍
- 二 受寄物ノ返還ニ關スル規定
- 第四條 農業倉庫業者ハ農業倉庫業法第一條第四項ノ規定ニ依リ保管スル物品ニ付テハ同條第一項乃至第三項ノ規定ニ依リ保管スル物品ト區別シテ整理シタル帳簿ヲ備付クヘシ
- 第五條 農業倉庫業者倉庫ノ所在地又ハ棟數ヲ變更セムトスルトキハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ
- 第六條 農業倉庫業者ハ事業年度終了後三月内ニ前年度ノ收支計算書



及事業報告書ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第七條 農業倉庫業者事業施行ニ關スル規程ヲ設ケタルトキハ遲滯ナク之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第八條 農業倉庫業者事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ遲滯ナク其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第九條 農業倉庫業法第六條及第十三條ノ行政官廳ハ地方長官トシ同法第十五條及第十七條ノ行政官廳ハ農商務大臣及地方長官トス

農業倉庫業法第十六條ノ行政官廳ハ産業組合、町村農會、郡農會又ハ町村若ハ之ニ準スヘキモノカ農業倉庫業者タル場合ニ於テハ農商務大臣、地方長官及郡長トシ其ノ他ノ場合ニ於テハ農商務大臣及地方長官トス

附則

本則ハ農業倉庫業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第五條又ハ第九條第一項ノ規定ニ依リ公益法人ニ付地方長官ノ行フヘ

キ處分ハ當分ノ内農商務大臣之ヲ行フ

農業倉庫收支計算書及事業

報告書ノ様式

大正七年八月五日農商務省  
告示第二百五十二號

收支計算書

收入及支出ニ大別シ且其ノ種目別金額ヲ明ニシ尚必要アルトキハ收入又ハ支出ヲ經常及臨時ノ二部ニ分チテ之ヲ作成スヘシ

事業報告書

(第一號表) 受寄物ノ品目別入出庫數量

品目	前年度末			本年度末			備考
	現在數量	入庫數量	出庫數量	現在數量	入庫數量	出庫數量	
米	石	石	石	石	石	石	
粗							
大							
小							
裸							
大							
豆							
藨							

注意  
 一 本庫支庫ヲ合併シテ一表ニ作成スヘシ以下倣之  
 二 本庫支庫間又ハ支庫間ノ入出庫ハ之ヲ計上スヘカラス以下倣之  
 三 穀物ニ付テハ俵及石ヲ以テ併記スヘシ但シ重量ヲ使用スル物ニ在リテハ重量ヲ以テ示スコトヲ妨ケス  
 四 穀物及藨以外ノ物品ノ數量ノ單位ハ成ルヘク廣ク使用セララルモノヲ用ウヘシ以下倣之  
 五 備考欄ニハ受寄物ニ損害アリテ年度末現在數量カ前年度末現在數量ト入出庫數量ノ差引トノ和ニ一致セサル場合ニ於ケル事由等ヲ記スヘシ

(第二號表) 受寄物ノ品目別別入庫數量

品目	數量												
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	合計
米	俵	俵	俵	俵	俵	俵	俵	俵	俵	俵	俵	俵	俵
粗													
大													
小													
裸													
大													
豆													
藨													

注意 月次ハ曆年ニ依ル









(第九號表ノ三) 金融斡旋ノ件數、金額及貸付ノ目的物ノ數量並貸付利率

品目	件數	金額	數量	貸付利率(日歩)			備考
				最	高	低	
玄米	件	円	石	通	通	通	
麥							

(第十號表) 剩餘金處分又ハ損失金填補方法

一金	何圓	本年度剩餘金(損失金)
此ノ處分(填補)方法		
金	何圓	何々
金	何圓	何々
金	何圓	何々

### 農業倉庫獎勵規則

大正六年八月十五日  
農務商省令第十六號

第一條 農商務大臣ハ農業倉庫獎勵ノ爲本則ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付ス

第二條 補助金ハ左ニ掲クル道廳府縣ノ補助金ニ對シ道廳府縣ニ之ヲ交付ス

- 一 農業倉庫業者農業倉庫ヲ建築、改築若ハ修繕シ又ハ買入レムトスル場合ニ於テ之ニ要スル費用ニ付道廳府縣ノ交付スル補助金
- 二 農業倉庫業者農業倉庫ヲ建築、改築若ハ修繕シ又ハ買入レムトスル場合ニ於テ之ニ要スル費用ニ付郡、市町村若ハ之ニ準スヘキモノ、農會又ハ地主會等ノ交付スル補助金ニ對シ道廳府縣ノ交付スル補助金

第三條 補助金ノ額ハ農業倉庫ノ建築、改築若ハ修繕又ハ買入ニ要スル費用ノ二割以内トシ且道廳府縣ノ負擔額ヲ超エサルモノトス

第四條 補助金ノ交付ヲ受ケムトスル道廳府縣ハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附シ前年度二月末日迄ニ農商務大臣ニ之ヲ提出スヘシ但シ前年度ノ補助金交付申請書ニ添附シタルモノト變更ナキ規程ハ之ヲ添附スルヲ要セス

一 補助金豫算書及其ノ説明書

二 補助金交付ニ關スル規程

第五條 補助金ノ交付ヲ受クル道廳府縣ニシテ前條ノ補助金豫算書又ハ規程ヲ變更セムトスルトキハ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ前條但書ノ規定ニ依リ添附セサリシ規程ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第六條 補助金ノ交付ヲ受クル道廳府縣ハ當該年度ニ於ケル補助金ノ決算及交付ノ成績ヲ翌年度六月末日迄ニ農商務大臣ニ報告スヘシ第七條ノ規定ニ依ル義務ノ存スルトキ亦同シ

第七條 補助金ノ交付ヲ受クル道廳府縣ニシテ補助金豫算書ニ定メタル補助金ノ交付ヲ當該年度内ニ終了シ得サルトキハ年度後ニ於テ之

ヲ繼續交付スルノ義務アルモノトス

第八條 道廳府縣第七條ノ規定ニ違反シタルトキ又ハ補助金交付ノ成績不良ナリト認ムルトキハ農商務大臣ハ補助金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命スルコトヲ得

附 則

本則ハ農業倉庫業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四條中前年度二月末日トアルハ大正六年度ニ限り大正六年十一月末日トス

神奈川縣農會農業倉庫補助規則

(大正七年七月四日設定)

第一條 本會ハ農業倉庫獎勵ノ爲メ本則ノ定ムル所ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付ス

第二條 補助金ハ農業倉庫業者カ農業倉庫ヲ建設、改築、修繕又ハ買



入レムトスル場合ニ其經費ニ對シ之ヲ交付ス

第三條 補助金ハ農業倉庫ノ建坪拾五坪(附屬の建物を除く)以上ニシテ一廉ノ建築、改築、修繕又ハ買入ノ金額壹百圓以上ノモノニ限り其經費精算額ノ五割以内トス

第四條 補助金ヲ受ケムトスル者ハ左ノ書類ヲ添付シ豫シメ其申請ヲ爲スヘシ

- 一 農業倉庫業者認可書ノ謄本
  - 一 業務規程
  - 三 農業倉庫業法施行規則第一條列記ノ書類
  - 四 倉庫(附屬の建物を含む)敷地ノ圖面及其所在地ノ交通状態ヲ知り得ヘキ見取圖
  - 五 主任役員及職員ノ氏名及住所
- 第五條 本會ハ前條ノ申請ヲ監査シ其補助スヘキモノト認メタルトキハ承認狀ヲ發ス

第六條 補助ノ承認ヲ受ケタル者建築、改築、修繕又ハ買入ヲ了ヘタルトキハ十日以内ニ請求書ニ左ノ書類ヲ添付シ補助金ノ請求ヲ爲スヘシ

- 一 建設、改築、修繕又ハ買入ヲ了ヘタル年月日
  - 二 建設、改築、修繕又ハ買入ノ爲メ支出濟ノ經費ノ總額及其内譯
  - 三 補助申請添付書類中變更アリタルトキハ其事項
- 第七條 本會ハ前條ノ請求ヲ監査シ補助金ノ額ヲ決定シ之ヲ交付ス
- 第八條 本會ハ第五條監査ノ場合ニ於テ必要ト認メタルトキハ建設、改築、修繕又ハ買入ノ方法ノ改訂ヲ指示スルコトアルヘシ
- 第九條 本會ハ申請者カ前條ノ指示ニ從ハサルトキ又ハ補助スヘキ必要ヲ認メサルトキハ申請書類ヲ返戻ス

第十條 本會ハ第七條監査ノ場合ニ於テ正當ノ支出ニ非ラスト認ムルモノニ付テハ其決算ノ訂正ヲ指示スルコトアルヘシ

第十一條 本會ハ請求者カ前條ノ指示ニ從ヒ訂正ヲ了ハル迄ハ補助額

ヲ決定セス

第十二條 本會ニ差出スヘキ書類ハ其郡市農會ヲ經由スヘシ

第十三條 郡市農會ハ申請書ニ付テハ書類ノ整否及補助ノ要否、請求書ニ付テハ書類ノ整否及決算ノ正否ヲ調査シ意見ヲ添ヘテ本會ニ送付スヘシ

第十四條 補助金ヲ受ケタル農業倉庫業者ハ本會ノ承認ヲ受クルニ非ラサレハ事業ヲ中止又ハ廢止シ、倉庫ヲ他ニ讓渡、貸付又ハ擔保ニ供シ若クハ倉庫ノ坪數ヲ減少スルコトヲ得ス

第十五條 補助金ヲ受ケタル農業倉庫業者カ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ補助金ノ全部又ハ其一部ヲ返還セシムルコトアルヘシ

- 一 本規則ニ違背シタルトキ
- 二 補助ノ條件ニ違背シタルトキ
- 三 申請書、費用明細書、報告書又ハ屆書等ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタルトキ

第十六條 前二條ノ規定ハ補助金交付ノ日ヨリ十箇年ヲ經過シタルトキハ之ヲ適用セス

第十七條 本則ハ大正七年度ヨリ之ヲ施行ス

### 神奈川縣農會農業倉庫助成規則

(大正七年六月二十七日設定)

第一條 本會ハ農業倉庫助成ノ爲メ本則ノ定ムル所ニ依リ業務ノ指導及援助竝ニ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ助成金ヲ交付ス

第二條 助成ヲ受ケムトスル者ハ規定、倉庫ノ名稱、位置、構造、主任者ノ氏名住所、收容物ノ種類別豫算數量、經費ノ豫算及支辨ノ方法等ヲ明記シ郡市農會ヲ經テ其申請ヲ爲スヘシ

郡市農會ハ前項ノ申請ヲ調査シ意見ヲ添ヘテ本會ニ送付スヘシ

第三條 本會ハ前條ノ申請ヲ監査シ其助成スヘキモノト認メタルトキハ承認狀ヲ發ス

前項ニ依リ承認シタル農業倉庫ハ之ヲ助成倉庫ト稱ス

助成倉庫ハ本會ノ指示ニ違フコトヲ得ス

助成倉庫第二條第一項ノ事項ニ異動ヲ生シタルトキハ遲滯ナク之ヲ本會ニ報告スヘシ

第四條 助成倉庫ニハ所要ノ式紙ヲ交付ス尙ホ請ニ依リ必要ナル器具ノ一部ヲ貸與スルコトアルヘシ

第五條 助成倉庫ニハ請ニ依リ検査、格付、驅蟲等ヲ爲シ又ハ援助シ及金融、販賣等ヲ仲介ス

第六條 助成倉庫カ其業務ヲ縮少シ又ハ一時休業セムトスルトキハ豫シメ本會ノ承認ヲ經ヘシ其廢業セムトスルトキ亦同シ

第七條 助成倉庫ハ其事業年度終了後一箇月以内ニ其年度中ノ品名別等級別ノ入庫、出庫數量、販賣方法別ノ數量、價格、金融ノ件數、金額、及特ニ指示シタル事項竝ニ收支決算書ヲ郡市農會ヲ經テ本會ニ報告スヘシ

郡市農會ハ前項ノ報告ヲ監査シ意見ヲ添ヘテ本會ニ送付スヘシ

第八條 助成倉庫カ本則ニ違背シタルトハ本會ハ第三條ノ承認ヲ取消シ且既ニ交付シタル助成金ノ全部又ハ一部ヲ返納セシムルコトアルヘシ

第九條 本則ハ大正七年度ヨリ之ヲ施行ス



大正七年十一月三日印刷  
大正七年十一月六日發行

# 神奈川縣內務部

橫濱市伊勢町三丁目六十一番地

印刷者 柴田繁十郎

東京市日本橋區兜町二番地

印刷所 東京印刷株式會社

終

